

令和5年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 9番 軍司 俊紀

2. 1番 松尾 榮子

3. 3番 増田 葉子

4. 2番 松本 有利子

5. 6番 柴田 圭子

印西地区環境整備事業組合議会

議席9番 軍司 俊紀 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業の進捗状況について

令和10年度の稼働開始に向け、残り5年を過ぎた現在、事業進捗に遅滞はないか。事業進捗を確認する。

(1) 令和5年度に計画されている事業実施は予定通りか。

① 施設整備基本設計・建設工事発注に向けて

(機種選定に向けての応募締切を過ぎた現在、情報公開はどこまで可能か。)

② 地域振興基本計画の進捗はどうなっているのか。

(サウンディング調査の受託事業者が(株)流通研究所と決定されたが、今後の事業進捗の流れはどのように進むのか。)

(2) 令和5年度に予定されている都市計画の決定手続については予定通りか。

(環境影響評価との関連を合わせて確認する。)

(3) アクセス道路について

印西市道松崎吉田線の工事が遅れているが、影響をどのように捉えているのか。

(4) 現施設の延命化工事が終わり5年が経過しているが、不具合はでていないか。

【質問2】印西温水センターの運営について

令和6年4月1日から令和9年9月30日までの3年6カ月、引き続き指定管理者制度による管理運営を実施するため、現在募集が行われている。以下を確認する。

(1) 施設の視察及び説明会の開催に対して参加者はあったか。

(2) 募集要項、仕様書の配布は何社に行われたか。

【質問3】災害発生時の対応について

令和5年3月に組合では構成市町と共に「災害廃棄物処理計画」を策定し、公表した。計画を実現するためには構成市町との連携が重要であるとはいうまでもないが、十分な意思疎通がとられているのか。

(1) 業務継続計画について

(2) 災害廃棄物処理対策について

【質問4】平岡自然公園（印西斎場・印西火葬場）のありかたについて

去年1年間に国内で死亡した日本人は156万人余りと、統計を取り始めて以降、過去最多となったという報道があった。そして、今後も増え続け、2040年には約167万人に達する見込みと聞いている。こうした中、人口の多い都市部では亡くなった家族をすぐに火葬することができず、12日間待ったという人も出たという報道も併せてされている。印西地区も多死社会を迎えるのは避けられない。以下を確認する。

- (1) 斎場のありかたについて
- (2) 火葬待ちの状況と火葬炉の増設について
- (3) ゼロ葬や部分収骨について

議席1番 松尾 榮子 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業 地域振興策について

次期中間処理施設の整備に合わせ、賑わいと笑顔があふれるまちづくりの一環として計画されている地域振興策について、次の点を伺う。

(1) 吉田区のインフラ整備等について

各関連事業の実施状況及び予定について

(2) 多機能な複合施設について

①「地域まるごとフィールドミュージアム構想」において、「多機能な複合施設」の計画では、屋内余暇施設、屋外余暇施設、等の分野ごとに非常に多くの施設項目が挙げられているが、これらはすべて「複合施設」の計画内に盛り込まれるのか。

②屋内余暇施設では、メインの露天風呂のある入浴施設の他、広いロビーに屋内遊技場、共有客席、キッズルームなどが計画されているようだが、どのような施設を想定しているか。

③屋外余暇施設では、大規模な広場、花畑、雑木林等があり、バーベキューやドッグラン、動物とのふれあい等が挙げられているが、どのような施設を想定しているか。

④滞在型施設について、どのような施設を想定しているか。

⑤農業施設について、どのような施設を想定しているか。

(3) 大規模災害時の防災拠点・復興拠点として、どのような活用を想定しているか。

(4) 外部施設について

地域振興策開発エリアの隣接地で、民設民営で、野菜工場や本格アスレチック施設等が想定されているようだが、事業者誘致等の実施主体はどこか。

【質問2】動植物重要種の環境保全措置について

これについて、先の令和5年第1回臨時議会において、補正予算が提出され、可決されたが、詳細について再度確認したい。

(1) 次期中間処理施設整備事業実施区域内、及び事業実施区域外（アクセス道路整備事業、水路改修事業）の動植物重要種の環境保全措置の実施主体（区分、分担等）について。

(2) 移植計画の策定、計画承認、移植実施までのタイムスケジュールについて。

(3) 移植計画策定と移植実施に係る費用について、8月臨時議会において2か年で2409万円の事業費が補正されたが、動植物重要種移植のための費用でこのほかに必要なものはあるか。

- (4) 対象事業実施区域外の移植種に植物、両生類、昆虫類、クモ類、魚類のほか、哺乳類としてキツネが挙げられているが、それぞれの棲息環境保全として、どのような対策が求められ、講じていく考えか。

議席3番 増田 葉子 議員

【質問1】 共同処理する業務について

組合規約において共同処理する事務として、第3条1号に「一般廃棄物（し尿を除く）の収集、運搬及び処分に関する事務」とあり、6号では、各号に掲げる事務に関連する「一切の事務」と規定している。事務の範囲については、構成市町と協議の上でつどつど解釈されてきたところがあると理解しており、例えば、ごみ減量推進の事務の主体は組合なのか構成市町なのか、解釈の仕方によって見解が異なることもあったのではないかと考えている。

組合設立から長い時間が経過し、廃棄物処理の環境も技術も市民意識も大きく変わり、構成市町の姿も変容してきている。新たな施設を整備している今、当組合の本来の業務とは何か改めて問い、どうあるべきかを伺う。

- (1) 一般廃棄物の収集とはどのような事務なのか。
- (2) 一般廃棄物の運搬とはどのような事務なのか。
- (3) 「関連する一切の事務」とはどのような範囲と考えているか。
- (4) 「収集体制の一元化」と言われる事務統合から15年近く経過しているが、一元体制は完成しているのか。
- (5) 本来行うべき業務を遂行していくにあたり、現在の人員体制は十分か。

【質問2】 今年度、今後の人員体制について

次期中間処理施設の整備は言うまでもなく大事業であり、十分な人員体制のもと遂行され、その技術や経験、知識は今後引き継がれていかなければならない財産だ。今の組合は将来にわたって、この大事業を継承していける体制になっているだろうか、改めて伺う。

- (1) 令和5年度の人員体制はどうなっているか。
- (2) 採用計画、人材育成の方針・計画があるか伺う。

議席2番 松本 有利子 議員

【質問1】次期中間処理施設について

- (1) 現在の状況について
- (2) 関係市町との協議について
- (3) 排水及び排煙について
 - ① 排水について
 - ② 排煙について
- (4) 災害対策について

【質問2】地域振興策について

- (1) 現在の状況について
- (2) 課題や検討事項について
- (3) サウンディング型市場調査について
- (4) 協定書の内容に則って協議が進んでいるか

議席6番 柴田 圭子 議員

【質問1】 次期中間処理施設整備運営事業について

- (1) 構成市町との協議はどのようにされていますか
- (2) - 1 アクセス道路と線形修正の状況は
- (2) - 2 アクセス道路確保前に本体工事の事業者選定を開始することについてどう考えるか
- (3) 環境影響評価の取り扱い
- (4) - 1 周辺整備事業の用地交渉の進捗状況は
- (4) - 2 事業遂行に支障はないか
- (4) - 3 上限予定額のうち、すでに支出した額と内訳
- (4) - 4 焼却施設と一体整備に無理はないか

【質問2】 ごみ処理基本計画について

- (1) 令和5年3月に改訂されたごみ処理基本計画で新たに盛り込まれた視点や考え方は
- (2) 構成市町の計画との整合性は
- (3) 次期施設規模の適正な焼却量の考察はどのように行ったか
- (4) 一人当たりごみ排出削減目標値の設定で考慮した点は